

# 尾張北部自然観察会

2024年3月2日（土）晴れ時々雪

参加者 指導員8名 一般10名 計18名

出発時は晴れていましたが、郡上市の古今伝授の里に近づくにつれ雪がちらつき始めました。庭園のわずかなセツブンソウを見たあと周辺の土手に行くと、あちこちに期待以上の数のセツブンソウが咲いていました。外側の花弁のように見える萼片は透けるように白く、先端が2裂した蜜腺状の花弁は黄色、雄しべの葯は青紫色、中心の雌しべは薄紅色、色彩豊かなガラス細工のような花が淡雪の中で点在しているのに寒さを忘れて見入りました。セリバオウレンも多数見られました。

次に訪れた粥川では、まず大木に絡んでいる実が付いたツルマサキと着生したカヤランを観察し、森の入り口付近では早くもショウジョウバカマの花を見つけ、奥の方ではコセリバオウレンの群生を満喫しました。咲いているのは雄花と両性花で、今年も雌花は確認できませんでした。イワウチワのつぼみも色づき、春の訪れを感じた一日でした。

(後藤)

